学校番号	3015

令和４年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語科	英語表現	2	第２学年	Mainstream English Expression II Second Edition（増進堂） Vintage 英文法　語法 Listening Trial Stage2

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の「総合英語 B」で学習した文法事項や単語・熟語表現を土台として、自分の身の回りや社会で起きている出来事を英語で表現できるようになろう。理由や具体例を沿えて自分の意見を論理立てて伝えることができるようになろう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「英語表現」（２単位）及び「英語理解」（３単位）「CALL/ACT」（２単位）「異文化理解」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	英語理解 CALL/ACT 異文化理解	･自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	英語理解 英語表現 CALL/ACT 異文化理解	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	英語理解 英語表現 CALL/ACT 異文化理解	・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	英語理解 CALL/ACT 異文化理解

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	(a) 授業中の発言・貢献度などを総合的に評価	(a) 1分間スピーチ (b) プレゼンテーション (c) 英作文(スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション原稿)課題 (d) ディスカッション	(a)リスニングテスト (b) ペアワークやグループワークなどにおける理解度 (c) 1分間スピーチにおける理解度 (d) プレゼンテーションにおける理解度 (e) ディスカッション	(a)暗唱テスト (b)各アクティビティ後の自己内省 (c) プレゼンテーション、ディスカッション、課題提出に向けた準備
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (4時間)	Speech& Writing: Self-introduction Grammar: 文の要素	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		内容を覚え、前を見て、聞き手に聞こえるように話す	自己紹介スピーチを作成し、初対面の相手に自分の事を知ってもらう。	・自己紹介をするための語(句)・表現を学ぼうとしている。 ・Skills で積極的に自己紹介の工夫に取り組もうとしている。 文の要素を理解しそれらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		やさしい語を使い、自分の夢についても述べる	自己紹介スピーチのアウトラインの構成を学び、聴衆に伝わる効果的な方法で自分自身を英語で表現する。	・スピーチにおいて,他の生徒たちの前で積極的かつ的確に自己紹介をすることができる。 ・目的語と補語を的確に用いて英文を書くことができる。 ・スピーチ文のアウトラインを書いた後,それを整理して原稿を書くことができる。 ・自己紹介で必要な表現を書くことができる。	(a) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のスピーチを理解する	他者の自己紹介を聞いたり、モデル文を読むことで、他者に対する理解を深める。	・Model 文を読み取り,文章の構成を理解しようとしている。 ・他の生徒の自己紹介を理解することができる。	(a) (b) (c)
		「言語や文化についての知識・理解」			

		文の構成要素について学ぶ	英文の骨格として欠かせない SVOC の要素を学ぶ。	・スピーチ原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・文の要素を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 （４時間）	Speech & Writing: A Place I Recommend You Go Grammar: 時制	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		表情に注意し、はっきり話をする。	お勧めの場所に関するスピーチを作成し、その場所の良さを相手に伝える。	・聞き手に勧めたい場所を紹介する語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Skills で聞き手の関心を引く Opening を作る練習に取り組もうとしている。 ・時制を理解し、それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		スピーチの Opening で聞き手に問いかけてみる	スピーチのアウトラインの構成（Opening - Body - Closing）を学び、聴衆に伝わる効果的な方法でお勧めの場所を表現する。	・Speech において，積極的にかつ的確にお勧めの場所を紹介することができる。 ・時制の表現を的確に用いて英文を書くことができる。 ・スピーチ文のアウトラインを書いた後，それを整理して原稿を書くことができる。 ・お勧めの場所の紹介で必要な表現を書くことができる。	(a) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のスピーチを理解する。	他者のスピーチを聞いたり、モデル文を読むことで、他者の考えを理解する。	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・他の生徒のお勧めの場所とその理由を理解することができる。	(a) (b) (c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		時制に注意して英文を書こう。	日本語と英語の時制の違いを理解する。	・スピーチ原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・時制を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (4 時間)	Speech & Writing: What I' m worried about Grammar: 過去形と完了形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		聞き手の方を見てスピーチをする。	自分の心配事に関するスピーチを作成し、その理由を効果的に伝える。	・自分自身の心配事に関する語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Skills で内容を的確に伝える Body を作る練習に取り組もうとしている。 ・過去形と完了形を理解し，それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		Body の書き方に注して、スピーチ原稿を書く。	スピーチのアウトラインの構成（Opening - Body - Closing）を学び、聴衆に伝わる効果的な方法で自分の心配事を表現する。	・Speech において，積極的にかつ的確に自分の心配事を話すことができる。 ・スピーチにおいて，他の生徒たちの前で自分の言いたいことを的確に伝えることができる。 ・過去形と完了形を的確に用いて英文を書くことができる。 ・スピーチ文のアウトラインを書いた後，それを整理して原稿を書くことができる。 ・心配事の発表で必要な表現を書くことができる。	(a) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のスピーチを理解する。	他者のスピーチを聞いたり、モデル文を読むことで、他者の考えを理解する。	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・他の生徒の心配事とその理由を理解することができる。	(a) (b) (c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		過去形と完了形の使い方を身につける。	過去形と完了形の違いを理解する。	・スピーチ原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・過去形と完了形の表現を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (4 時間)	Speech & Writing: If I were the Principal Grammar: 仮定法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		聞き手をひきつけるように工夫しながらスピーチをする。	学校の現状（良い所、悪い所）をまとめ、学校をより良い場所にするためのスピーチを作成し、聴衆に効果的に伝える。	・学校生活に関する語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・Skills で要点を的確にまとめ Closing を作る練習に取り組もうとしている。 ・仮定法を理解し，それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		Closing の書き方に注意して、スピーチ原稿を書く。	スピーチのアウトラインの構成（Opening - Body - Closing）を学び、聴衆に伝わる効果的な方法で学校の現状とさらに良い場所にするための提案をする。	・Speech において，自分が校長先生になったときに学校をどのようにしたいかを話すことができる。 ・スピーチにおいて，他の生徒たちの前で自分の言いたいことを的確に伝えることができる。 ・仮定法を的確に用いて英文を書くことができる。 ・スピーチ文のアウトラインを書いた後，それを整理して原稿を書くことができる。 ・自分が校長先生になったと仮定した話で必要な表現を書くことができる。	(a) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のスピーチを理解する。	他者のスピーチを聞いたり、モデル文を読むことで、他者の考えを理解する。	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・学校をさらに良い場所にするための手案を理解することができる。	(a) (b) (c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法の使い方を身につける。	仮定法と直説法の違いを理解し、仮定法過去と仮定法過去完了の適切な使い方を学ぶ。	・スピーチ原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・仮定法の表現を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (5 時間)	Presentation & Writing: A Memory of Childhood Grammar: 名詞と数	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		Show and Tell をする。	思い出の詰まった品を紹介するスピーチを作成し、その品を見せながら聴衆に効果的にプレゼンテーションを行う。	・思い出の詰まった品を紹介する語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・Skills でプレゼンテーションに用いる物の見せ方や出すタイミングなどの工夫に取り組もうとしている。 ・名詞と数，可算名詞と不可算名詞，集合名詞を理解し，それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		意見を述べるときの表現を身につける。	プレゼンテーションのアウトラインの構成を学び、聴衆に伝わる効果的な方法で思い出の詰まった品に関して表現する。	・Presentation において，聞き手に見せたい物にまつわる自分の思い出について話すことができる。 ・プレゼンテーションにおいて，他の生徒たちの前で自分の言いたいことを的確に伝えることができる。 ・名詞と数の表現を的確に用いて英文を書くことができる。 ・プレゼンテーション文のアウトラインを書いた後，それを整理して原稿を書くことができる。 ・自分の見せたい物を紹介するときに必要な表現を書くことができる。	(b) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のプレゼンテーションを理解する。	他者のプレゼンテーションを聞いたり、モデル文を読むことで、他者の考えを理解する。	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・他者の思い出の詰まった品を理解することができる。	(a) (b) (d)

		「言語や文化についての知識・理解」			
		名詞と数の使い方を身につける。	日本語話者が意識しづらい可算名、不可算名詞の違いを学び、主語と動詞の一致や代名詞の呼応を意識する。	プレゼンテーション原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・名詞と数の表現を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 （５時間）	Presentation & Writing: Japan ’ s Prefectures Grammar: 受け身	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		適切なタイミングで写真などを指して発表する。	日本の都道府県を紹介するスピーチを作成し、地図などの写真を用いながら、効果的にプレゼンテーションを行う。	・都道府県を紹介する語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・Skills でプレゼンテーションに用いる写真や地図の見せ方や出すタイミングなどの工夫に取り組もうとしている。 ・受け身を理解し，それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		比較・対照の表現の使い方に注目する。	プレゼンテーションのアウトラインの構成を学び、聴衆に伝わる効果的な方法で都道府県を紹介する。	・Presentation において，自分の担当する都道府県について話すことができる。 ・プレゼンテーションにおいて，他の生徒たちの前で自分の言いたいことを的確に伝えることができる。 ・受け身の表現を的確に用いて英文を書くことができる。 ・プレゼンテーション文のアウトラインを書いた後，それを整理して原稿を書くことができる。 ・写真や図，表を見せるときに必要な表現を書くことができる。	(b) (c)
		「英語理解の能力」			
		他人のプレゼンテーションを理解する。	他者のプレゼンテーションを聞いたり、モデル文を読むことで、必要な情報を理解する。	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・都道府県に関する説明を理解することができる。	(a) (b) (d)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		受け身の用法に付いて学ぶ。	どのような場面で受身表現を使うかを理解し、その表現効果を学ぶ。	・プレゼンテーション原稿の構造や，相手に伝わる話し方を理解している。 ・受け身を理解している。	(a) (b) (c)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （７時間）	Discussion & Writing: Family Rules Grammar: 動名詞・SVOC	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		全員が意見を言えるよう、議論をする。	自分の家族のルールや他人の家族のルールをまとめ、それに関して議論する	・家族特有のルールを説明するために必要な語（句）・表現を学ぼうとしている。 ・Key Text を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・Skill Workout で会話文の練習を行い，構成を理解しようとしている。 ・Preparation の対話や，数名のグループによる Discussion において，積極的に発言しようとしている。 ・動名詞と感覚・使役を表す動詞を理解し，それらを使って表現しようとしている。	(a)
		「英語表現の能力」			
		主張を支持する文を学ぶ。	自分の家族のルールや他人の家族のルールに対する自分の意見を理由、具体例を添えて述べる。	・Preparation で本番に向けた準備を行い，Discussion で自分の言いたいことを発言することができる。 ・自分が話すだけでなく，相手の話をくみ取り，それに対してどう思うか反応することができる。 ・動名詞と感覚・使役を表す動詞の表現を的確に用いて英文を書くことができる。 ・Discussion の結果をふまえて，議論した内容を Expressing Yourself でまとめて英文を書くことができる。	(a) (c) (d)
		「英語理解の能力」			

		他者の意見とその根拠を理解する。	他者の意見を聞いたり、モデル文を読むことで、他人の意見や立場を理解する	・Model 文を読み取り，文章の構成を理解しようとしている。 ・家族のルールに関する他人の意見を理解することができる。	(a) (c) (d)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		知覚動詞・使役動詞を使った SVOC の文、および動名詞について学ぶ。	どのような場面で知覚・使役動詞構文や動名詞を使うかを理解し、その表現効果を学ぶ。	・相手に伝わる話し方をし，また相手の話していることを理解している。 ・ディスカッションのルールや形式，マナーなどを理解している。 ・動名詞と感覚・使役を表す動詞の表現を理解している。	(a) (b) (c) (e)